



神戸新田・気楽に集まる会

地区内小学生と交流会

8月10日、神戸新田町会で地区内小学生を対象にした「夏休みお楽しみ会」が開催されました。今回のお楽しみ会では、同町会の高齢者の集まり「気楽に集まる会」の皆さんとの交流会が行われ、地区内の小学生、PTA、高齢者50名が参加しました。

神戸新田町会では、毎月第2水曜日に高齢者が気軽に集まり交流する場として「気楽に集まる会」を行っています。町内には他に5年以上続いているという「そば会」もあり、地区内のつながり作りの場になっっています。

今回の交流事業では、七夕の伝統料理ほうとうづくりや長巻寿司づくり、その他にもシャボン玉、輪投げなど様々



ほうとうづくりに挑戦



みんなで長巻寿司づくり

な企画で小学生と高齢者が交流をしました。ほうとうづくりでは、粉からほうとうを作ることに挑戦しました。粉に水を入れ練って丸め、のし棒で伸ばして、専用の包丁で切つて巾の広い麺を作りました。茹でたあと、小豆餡をまぶして「ほうとう」ができあがりました。小学生たちは、地区内の達人の指導を見聞きし、真剣にほうとう

笹賀の世帯数・人口
世帯数 4,507 世帯
人口 11,139 人
男 5,636 人
女 5,503 人
(平成 28.9.1 現在)



七夕についてのお話

また、長巻寿司づくりでは、女性陣が大活躍。子どもたちと一緒に笑顔で長巻寿司を完成させました。

完成したほうとう、長巻寿司を「気楽に集まる会」の人や、お母さんたちと一緒に、お腹いっぱい食べました。「気楽に集まる会」の山田二

義さんから、七夕の話や地元で伝わる七夕の伝統行事や「織姫・彦星」の話聞いて、学校とは違う、星の世界の民話を勉強しました。

小学生たちは、祖父母に当たる年齢の地域の先輩たちから、長年の生活の知恵を受け継ぎ、真剣な表情で教わっていました。家庭や地域のために働き続け、円熟期を迎えて第2の人生を送っている高齢者の皆さんも、子どもたちから活力を受け取っているような笑顔の世代交流でした。

二美町2丁目 三世代交流で農業体験 ふたみっこ農園の取り組み

私どもの町会は、来年50周年を迎えます。団地としては歴史ある町会で、高齢者が多く住んでいる町会でもありません。これから先、この町会の維持・存続を考えた時、高齢者の方々と、若い方々の交流がなければ、なかなか難しいと感じていました。

そんな時、松本市の公民館活動で、「誰かが集う公民館のため」という、課題解決ワークショップが開かれ、同じような悩みを抱えている町会の方々と話し合いで出てきた案が「畑を作る」でした。

収穫祭で交流を持つことができるし、野菜を作る高齢者の方には敬意を表すことができる、お母さんや子どもたちには、物を作る喜びなど、



ジャガイモ掘りに挑戦



トマトもたくさん採れました

情報教育にもつながるのではという案でした。私は早速、町会に持ち帰り、町会内のサークル「三世代交流 ふたみっこ」で畑ができなにか、町会長に相談をし、許可を得ました。町内から畑づくりの得意な方を募り、町会から近い畑を探していたところ、中二子の方の畑を借りることができ、ふたみっこ農園をすぐ始めることができました。

今年にはジャガイモ・トマト・きゅうり・かぼちゃ・トウモロコシ・ナス・メロンなど15種類ほどの野菜や果物が収穫でき、秋には収穫した野菜を使ってカレーを作り、三世代みんなで試食をする予定です。

二美町2丁目町内公民館長

山田 さつき

平和について考える

親子歴史講座



松本市平和都市宣言30周年事業の一環として、笹賀公民館では8月28日に親子歴史講座が、参加者19名(5家族)で開催され、岐阜県の瑞浪市民公園の一角を見学しました。

地下工場跡

戦時中、岐阜県瑞浪市に総延長8km以上に及ぶ地下壕の工場が掘られました。現在その工場跡の一部を利用して、地底博物館地球回廊と化石博物館、化石の地下壕が作られています。一帯も市民公園として整備され、瑞浪市陶磁器資料館、市之瀬廣太記念美術館、岐阜県先端科学技術体験センターサイエンスワールドが併設されています。サイエンスワールドは広



入口で説明を受ける参加者

く、一般に無料で開放されています。

子どもたちの感想

- 化石の地下壕や道路沿いに続く地層が面白かった。
- 博物館での学芸員さんの話はとても面白かった。瑞浪市で出土した化石がいろいろあって、海だった証拠がたくさん残っていてすごいと思っただ。
- 化石の地下壕は試し掘りだったようですが、あの貝殻のいっぱいある天井を見て、ここを掘った当時の日本人や中国・朝鮮の人たちは何を思ったのか、と考えました。
- トンネルを掘っているとき化石が出てきて、掘っていた人は発掘したいと思わなかったのかな。
- 地球回廊は地球が出来てから今までの間の生き物の歴史が展示されていました。絶滅した生き物がたくさんいること、現在絶滅危惧種とされて



天井には化石がびっしり

- いる生き物がいること、どうしたら守れるのか、人類との関係は難しいと思いました。
- 地球回廊の中は気温15度で、最初は涼しくて気持ちよかったです。海だった証拠がたくさん残っていました。こんなところを工場にしていたんだなと思いました。
- 地下壕の掘られた山の遊歩道を登り、日中不戦の誓いの碑まで歩きました。山の上でひっそりと静かに碑が建っていて、戦争について考える1日でした。

親として

今回参加した小さい子は歴史のことなど考えず無邪気に遊びます。そんな笑顔を絶やさないよう、きちんと歴史を伝え、平和のために生かしたいと思う歴史講座でした。

「松本赤十字奉仕団笹賀分団」を紹介しつづ。

日本赤十字は、明治10年博愛社として創設され、明治19年日本赤十字社に改め、国際赤十字の仲間入りをしました。この赤十字活動を地域で支える日赤奉仕団は笹賀地区でも戦後まもなく活動していたと思われませんが、後に婦人会がその役割を担う事になったり、日赤への募金活動のみ町会ごとに形を変えて残っています。



防災ずきん作りの様子

は3枚のタオルを使い、中にマスクやごみ袋等を入れ、防災ずきんを作りました。

3年前、松本市35地区の中で笹賀と神林だけ奉仕団がないことを知り、平成25年11月に有志が集まり15名で発足しました。現在は22名までになりましたが、各町会に1名以上はいるように加入の推進も行っています。

1年を通して、災害食の実習、救命救急の講習、防災の研修や乳児院祭りのお手伝い等の活動をしています。今春

赤十字奉仕団笹賀分団
分団長 三村 玲子

スポーツ大会結果

◇西南ブロック球技大会

- 軟式野球の部
優勝 笹賀
- 準優勝 今井
- 第3位 神林(棄権)
- バレーボールの部
優勝 笹賀

準優勝 今井

第3位 神林

両種目で11月に開催される市長杯争奪球技大会への出場を決めました。

応援よろしくお願いします。